

## 令和3年度 背振少年自然の家等に係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

日 時： 令和3年8月30日（月） 16：00～18：45

場 所： 福岡市役所 行政棟3階北側会議室

出席者： 委 員5名

事務局4名（こども未来局こども部こども健全育成課長 他）

### 1 開会

### 2 委員紹介

### 3 委員会の設置について

事務局より委員会設置要綱について説明。

### 4 委員長及び副委員長の選出

委員会設置要綱の規定に基づき、委員長に中村委員、副委員長に井上委員を選出。

### 5 会議の公開・非公開について

委員会設置要綱の規定に基づき、「評価基準」及び「指定管理者からの意見聴取」は公開、「評価」については非公開とすることを確認。

### 6 評価について

#### (1) 評価基準

意見なし。

#### (2) 指定管理者からの意見聴取

委 員： 青少年教育施設では、今後、SDGs の達成に向けた取り組みが重要と考えるが、当施設でのSDGsの取り組みを教えてほしい。

指定管理者： 背振では、森や水の豊かさを守ることをテーマにしたプログラムを実施し、自然を守ることが自分たちの生活を守ることに繋がることを、利用者に理解していただけるよう取り組んでいる。海の家では、施設裏の海岸に日々漂流物が打ち上げられており、清掃活動のプログラムを実施するとともに、海洋ゴミが生態系に与える影響等を学ぶSDGs関連事業も実施した。また、職員が漂流物でモニュメントを作製し、利用者に見ていただいている。

委 員： キャンセル料はどのような時に発生するのか。

指定管理者： 食事代について、3日前の夕方以降のキャンセルは、食材を発注してしまうのでキャンセル料をいただいているが、利用者には事前に十分説明している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の理由によるキャンセルについては、市の方針に基づいて、前日でもキャンセル料はいただけない。

委 員： アンケートで、エアコンが必要との意見があるが、エアコンは設置したのか。

指定管理者： 背振の食堂と研修室には設置したが、宿泊室については、今後、設置する予定である。

委員： アンケートで、子ども用の食事のメニューについての意見があるが、食堂にフィードバックして改善しているのか。

指定管理者： 食事については、ご意見があればすぐに食堂にフィードバックし、現場会議で課題に対応している。味付けについては千差万別で難しい部分があるが、職員で協議しながら進めている。例えば、未就学児の利用が増えてきており、「辛い」とのご意見があったが、香辛料を使わないなどの対応をしている。

委員： アンケートで、必要な資料が一カ所に揃っておらず、電話確認しないと計画が立てられないとの意見があるが、何か改善をしたのか。

指定管理者： 提出資料が多く、どうしても複数ページに渡り、そのような声をいただくことがある。利用相談で施設に来られた際に資料をセットにしてお渡しするなど、改善に努めている。書類の煩わしさについてのご意見は多く、決まり事なのですぐに解決はできないが、継続的に検討していく必要があると考えている。

委員： オンラインプログラムで、特に気を付けていることはあるか。

指定管理者： オンラインでは、職員のペースに子どもたちがついて来ないなど、一方通行になりがちなため、子どもたちの反応を一番大切にしており、モニターを設置し、職員が子どもたちの様子を確認しながら、話のスピードを変えたりもう一度説明したりするなど、双方向のコミュニケーションを心掛けている。また、子どもたちが反応しやすいように、クイズ形式で番号札を用いて手を挙げさせるなど、アクションを大きくするような工夫もしている。

委員： 宿泊を伴う自然教室や修学旅行が難しくなっている中、今後、宿泊を伴う施設として継続していくのであれば、風呂や宿泊室等の感染対策をどうするのか、または、宿泊を伴わない施設にシフトしていくのか、考えがあれば教えてほしい。

指定管理者： 今年度は、市と相談したうえで、考えられるあらゆる感染対策を徹底し、利用者を受け入れていくということでスタートした。今後は、教育委員会とも意見交換し、対策が足らなければ強化するなど状況に合わせて対応しながら、基本的には宿泊を伴う形での受け入れを継続していきたい。

委員： 勤務形態がシフト制の中で、職員研修や新しいプログラムを開発する際の職員数や時間帯など、どのような工夫をし、苦労があるのか教えてほしい。

指定管理者： 背振では、研修やプログラムの開発は、通常、12～3月の閑散期に行っているが、令和2年度は自然教室の中止や施設の休所等もあり、シフトを組み直すことでインストラクターの出勤日を集中させるなど工夫し、例年より多くの時間を設けることができた。海の家では、研修は年間計画を立てて実施しているが、プログラム開発は計画的ではなかったため、プログラムの継続性等も考慮し、今年度からは、職員からのアイデアをまずはサービス向上委員

会で精査し、要否を判断したうえで開発することとした。

委員： 最近、大雨等が多いが、背振ではどのようなリスク管理をしているのか。

指定管理者： 施設が老朽化していることもあり、建物や設備については、通常の点検に加え、年2回、2～3日かけて職員がチェックし、危険箇所を事前に補修している。また、施設周辺は自然に囲まれており、大雨等の際には倒木や土砂災害等のリスクがあるが、間伐や草刈り等、森林整備を計画的に行いながら危険箇所を把握し、被害があってもすぐに復旧できるようにしている。職員の安全面についても、大雨や大雪等の場合は市と相談し、施設を休所するなどして配慮している。

### (3) 評価

5 その他（事務連絡）

6 閉会